

出版社「ギペリオン」社長スモリャコフ氏への旭日双光章の伝達式の実施

2014年12月15日

12月8日、在サンクトペテルブルク総領事の公邸において、出版社「ギペリオン」社スモリャコフ社長への旭日双光章の伝達式が実施されました。

スモリャコフ氏は、ロシアで唯一日本文学を扱う出版社「ギペリオン」社の代表として、多くの日本文学先品を当地だけでなく、モスクワをはじめとしたロシアの諸都市、旧ソ連圏諸国で出版し、ロシア語圏全体における日本文学先品の紹介・普及、ひいては出版された日本文学作品を通じた対日理解の向上に貢献を果たしています。また「サンクトペテルブルク露日友好協会」理事として、10年以上にわたりサンクトペテルブルク市における日本文化の普及に寄与しています。

山村総領事は、伝達式における挨拶にて、スモリャコフ氏の対日功績に言及した上で、サンクトペテルブルクの書店では「ギペリオン」社の翻訳・出版した日本の文学作品が並んでいるのを目にすることができ、日本人として嬉しく思う。今後も「ギ」社がロシア人による日本文化の理解増進に引き続き貢献していくことを祈願すると述べました。

これを受けてスモリャコフ氏は、叙勲を贈与されることは大きな光栄である。日本に関わる仕事をして30年で、天皇陛下から叙勲を授かるに至り、大変嬉しく思うと述べた上で、日本国政府及び山村総領事に対する感謝の言葉を述べました。

伝達期に出席したスモリャコフ氏の家族や、ゼニナ露日友好協会名誉会長、スモリャコフ氏の朋友であるゲルツェフ・ITSUMO社「社長」、マクシモヴァ画伯、カリニナ露日友好協会副会長、マランドジャン東洋写本研究所上級研究員、といった出席者からも祝辞が述べられました。

